

# ガーナでそろばんプロジェクト 50号 ( 2016年 3月 3日 )

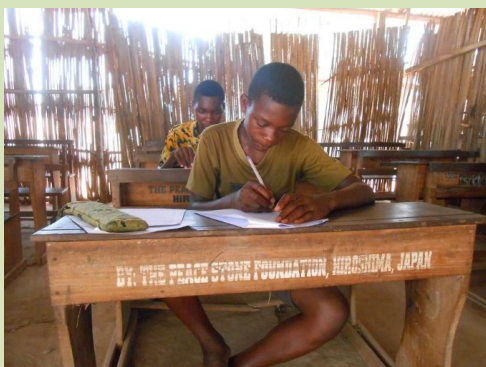
★★ 最初から できる子なんていない！！そうはわかっているのに……★★

アフィエ村  
そろばん教室

報告 TOSHIKO

2月最後のそろばん教室の日、ギデオン、コンスタンスと同じクラスにいるサアスウが初めて来ました。中学1年生です。私の行う授業の中でサアスウは、“何をやるのも他の生徒より遅い。理解力が乏しい”そんな印象を持たずにはいられない生徒なのです。その為、教室に入ってきた時は“何をしに来たの？”と思わずにはいられません。私はいつも大事な何かを忘れてしまいます。その為、今回は記念すべき50号なのですが、自責する意味を込めて、また初心を忘れないためにも書こうと思いました。サアスウは、針に糸を通すことをさえ周りの生徒よりも遅く、やっと通せたかと思えば、縫い方がまったくわからない。また簡単な折り紙でさえ、折り紙がぐちゃぐちゃになってしまっているのです。その為、他の生徒はその作業を終わろうとしているのに、サアスウはまだ終わっていない。サアスウだけではなくあと数人の生徒も終わっていないのだけれど、私の中でサアスウだけができない子になってしまっているのです。こうした時、いつも私は誰かと比べているのです。誰か日本の子どもたち。しかも縫い方も折り紙もこれまで何回もやってちゃんとその方法を習得している子どもと比べてしまうのです。このそろばんプロジェクトを始めたきっかけとなったのは、子どもたちが繰り上がり繰り下がりの計算がとて苦手だったことがきっかけです。工作、手芸と絵を描く以外の授業を取り入れたのも、子どもたちに色々な体験をしてほしいという思いからです。みんな最初からできる子なんていないのです。だけれども、ちよっとだけ他の生徒より遅いだけで“まったく、なんでもできないの！”と怒りを露わにしてしまう自分。大事なことを忘れ

て初心を忘れていて自分がいます。最初からできる子なんていない。デイビットもクレナムも最初からできていたわけではありません。アイズイクは、かけ算九九を全部暗記するのに約4年かかりました。初回となったその日は、サアスウへの指導はそろばんを渡して、数を置く前にするご破算のみの指導となりましたが、引き続き通ってそろばんの楽しさを知って欲しいなと思います。そして、私は初心を忘れずにいきま



協賛

トモエそろばん様